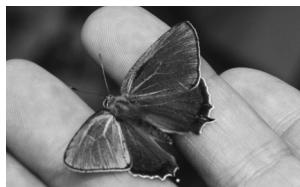


おしる 「上山城」からのたより 初夏・第87便

三吉山での昆虫観察会

六月に開催した企画展「昆虫学者―白畑孝太郎」の会期中に、三吉山で昆虫観察会を三回開催した。自然系の企画展示と昆虫観察会の開催は、当館にとつて初めての試みであったが、展示の監修及び観察会の講師をお願いした永幡嘉之氏のご協力により充実した企画となった。

昆虫観察会は三回とも天候に恵まれ、多くの昆虫たちと出会うことができた。普段の生活の中で見過ごしてしまいうような小さな昆虫たちの存在に気づかされ、参加者にとつて得難い体験となったのではないだろうか。一日に六十種類以上の昆虫を見つけた日もあった。中でも、光沢



上左：ジョウザンミドリシジミ



上右：オオムラサキ (オス)



下左：ルリボシカミキリ



下右：カブトムシ (オス)

のある青色の美しい羽を持つ羽化したてのジョウザンミドリシジミ、クスギの樹液に集まるカブトムシ、ピロードのような質感を持つ水色のルリボシカミキリ、キブシに集まる鮮やかな光沢のある黄緑色のアカスジキンカメムシ、三吉山の頂で高い場所で滑空するように飛翔するオオムラサキなどは特に印象的であった。

今回三回とおして参加することにより理解することができたことがある。昆虫は同じ場所でも観られる時期や時間があること、各々好む樹木があり、その生態を知ることによりどの昆虫がいつどこにいるのかを探ることができることである。

三吉山という身近な里山にこれだけ豊かに昆虫たちが生息していることを、私自身、今回初めて知った。数十年後、今と同じ自然環境を維持していくことは容易でないかもしれない。自分たちの身近な里山にどんな昆虫が生息しているのか、少しでも多くの子ども達に体感してもらおうことで自然保護への意識付けができるのではないかと

【常設展示室から】2階入り口付近の上山藩コーナーに土岐頼稔（頼行の孫）が徳川吉宗より拝領したと伝わる

刀（無銘）を展示しています。

（公財）上山城郷土資料館 学芸員 大場 浩子